

令和7年10月9日

関係学校長 様
関 係 各 位

京都府立嵯峨野高等学校
校 長 吉 村 要

令和7年度 京都府立嵯峨野高等学校 SSH公開授業研究会 について（御案内）

清秋の候 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

本校はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）第Ⅲ期の4年目を迎え、課題研究をはじめとして様々な事業に取り組んでいるところです。

このたび、令和7年度SSH公開授業研究会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、多数の皆様に御参加いただき、御指導・御助言を賜りたく御案内申し上げます。

記

- 1 テー マ 教科科目での探究学習の実践 および
探究の質を向上させるための教員の関わり方について
- 2 日 時 令和7年11月26日（水）10時から17時まで（9時30分より受付）
- 3 内 容

時間	内容
10:00～10:40	開会・本校の教育内容について
10:50～11:40	公開授業① 1年生の学校設定科目「グローバルインタラクション」、総合的な探究の時間「ロジカルサイエンス」の授業を公開します。
11:50～12:40	公開授業②「教科科目での探究学習」 ※授業内容は別紙を御覧ください。
12:40～13:20	昼食をとりながら授業担当者と見学者で交流 ※昼食は各自御持参ください。
13:25～15:15	教員研修①「探究の質向上のための教員の足場かけ」 講師：立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員 蒲生 諒太 氏 京都こすもす科専修コース2年生の代表生徒が探究の中間発表を行い、発表後の蒲生氏との対話を通してリフレクションをします。
15:30～16:30	教員研修② 講演「探究を支援するために必要な教員の資質・能力について」 講師：立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員 蒲生 諒太 氏
16:30～17:00	情報交換会

- 4 会 場 京都府立嵯峨野高等学校（〒616-8226 京都府京都市右京区常盤段ノ上町15）
- 5 申込期間 令和7年11月19日（水）まで
- 6 申込方法 以下のURLまたは二次元コードからお申し込みください。

<https://www.kyoto-be.ne.jp/sagano-hs/mt/ssh/>

- 7 連 絡 先 京都府立嵯峨野高等学校
副 校 長 村瀬 養治
担当教諭 森田 勝也
電話：075-871-0723

e-mail：k-morita-11@kyoto-be.ne.jp



公開授業「教科科目での探究学習」

本校はSSH第Ⅲ期で「Sagano 学びのデザインシート」を作成し、様々な教育活動の中で重点的に育成する資質・能力を「『ほんまもん』の学びを加速する ACCEL」として5つに整理しました。

「ほんまもん」の学びを加速する アクセラ ACCEL

Agency

変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、粘り強く行動する力

Collaboration

他者を理解し、協働する力

Creativity

新たな価値を生み出す創造力

Expression

自らの考えを表現・発信する力

Logical thinking

論理的に思考する力



今回の公開授業でも育みたい力を明確にし、各授業での目標・評価について検討することとしています。

授業① 1年生 生物基礎
単元：ヒトの体内環境の維持 授業内容：単元の学習の最後に、これまで学習した知識を活用して、実際の症例を分析するワークを行う。生徒はそれぞれのカルテを読みながら、「可能性のある疾患名」「疾患を判断した理由（しくみ）」「疾患の原因」「治療法と予後生活」について調べ、説明できるようにまとめる。問いと方法については教員が提示し、仮説の設定と、情報の収集と分析を授業内で実践する予定である。 本時で育みたい力：Collaboration / Logical thinking
授業② 2年生 理数化学
単元：溶液の性質 授業内容：小単元を学習後、生徒は3人1組で授業で学んだ身の回りの事象に対して自由に問いや探究課題を設定する。その後、毎週さらなる問いを立てて探究活動を進める中で、本時は情報の整理・分析に関する活動を行う。進捗状況を確認し合うために、短時間各班に発表させることを予定している。総合的な探究の時間で身につけてきた主体性を発揮し、教科の視点を持って楽しく学ぶ生徒の姿を御覧ください。 本時で育みたい力：Agency / Creativity
授業③ 1年生 数学Ⅰ
単元：図形と計量 授業内容：「平地から、角度や長さを直接測る器具（分度器や巻き尺等）を用いてある地点の高さを求める」という課題を解決する。ある地点の高さを求めるにあたって、どのような角度や長さを調べておく必要があるのか、また、それらは現実的に測量可能なのか、実際に校舎のある地点を求める高さに見立てた測量活動等を踏まえて、グループで協力しながら既習事項を活用して高さを求める。 本時で育みたい力：Expression / Logical thinking

授業④ 1年生 英語探究Ⅰ
単元：Heartening English CommunicationⅠ（桐原書店）Lesson 8 The World's Winter Festivals 授業内容：本文を読解し、内在化した後の言語活動に取り組む。本文中の「伝統文化はどのように守るべきか」という問いに対して、それぞれ指定された立場での主張をプレゼン発表した直後の場面を設定する。批判的な意見に対して、自らの意見を再構築し、主張をまとめる方法をグループワーク形式で考え、発表する。本校が3年次に行う英語での探究発表、および即興型英語ディベートにつなげることを目的とした活動を予定している。 本時で育みたい力：Expression / Logical thinking
授業⑤ 2年生 古典探究
単元：『源氏物語』 「光る君誕生」 授業内容：年間通じて言語活動を重視した古文の授業を行っている。『源氏物語』 「光る君の誕生」の読後に、「源氏物語記者会見」という言語活動を行う。登場人物6人（桐壺帝、桐壺更衣、光源氏、母北の方、弘徽殿の女御、一の皇子）の役をくじで決め、残りの生徒は記者の役になる。記者は登場人物の役になった生徒に本文を踏まえてインタビューする。単語や文法を習得した先にある古文の楽しさと深い読みを体験させるため、生徒の主体的な活動を取り入れる。 本時で育みたい力：Expression / Logical thinking
授業⑥ 1年生 公共
単元：国際社会の動向と日本の役割（特に「経済のグローバル化と相互依存関係の深まり」「国際貢献を含む国際社会における我が国の役割」に関する内容） 授業内容：本授業は、当該単元の既習事項とそれに関連して現在生じている変化や論点との「ギャップ」（あるいは単に「相違」）を、生徒が興味関心に応じて自ら捉え、報告することで、グローバル経済および国際政治に関する知見をさらに深めることをねらいとする。当日は、1・2年生で導入している「日経電子版 for Education」をペア・グループ単位で活用し、記事の整理・解釈・批判のプロセスも意識した学習活動を設定する。 本時で育みたい力：Expression / Logical thinking

研修講師 蒲生 諒太 氏 プロフィール

京都大学大学院在籍中より高等学校で非常勤講師を務め、探究的な学習の指導や総合学習カリキュラム改革に携わる。京都大学総合博物館「学び」展プロジェクトに参加し全国の小中高校現場と連携。2018～2023年は立命館大学で講師としてオンライン授業を含む教育実践に従事し、現在は同大学OIC総合研究機構研究員。探究学習の発表大会IBLユースカンファレンス実行委員会代表を務め、中高生向け探究プログラムの開発・分析や教材作成を行っている。